

# いのちの 根っこにある人権

## まちづくり コンサート すてきな町のすてきな人

「縁台プロジェクト」  
「歌の炊き出し」  
「手のひらに太陽の家」

### 人権に関する動き

(1) 2016年4月1日

### 障害者差別解消法

全ての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に向け、障害を理由とする差別の解消を推進することを目的とする。

(2) 2016年6月3日施行

### 本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律（ヘイトスピーチ（憎悪表現）対策法）

「日本以外の国・地域の出身者かその子孫」で国内に住む人に対して、差別意識を助長・誘発する目的で、生命や財産に危害を加えるように告げ、地域社会からの排除をあおる言動を「不当な差別的言動」と定義した。国や自治体は、相談体制の整備や教育・啓発活動などの施策で差別の解消に取り組むよう求められた。罰則はない。

(3) 2016年12月9日成立

### 「部落差別解消推進法」

「現在もなお部落差別が存在し、情報化の進展に伴って差別に関する状況の変化が生じている」などと盛り込まれた法案

- ・教育啓発活動
- ・相談事業
- ・実態調査

- ①人を見下す人にならないで
- ②自分で自分を見下す人にならないで
- ③成功の形はそれぞれちがう。

貧困（経済的に厳しい）は人間として、恥ずかしいことではない！そのために気後れしたり、肩身の狭い思いをしないでほしい。人間として本当に本当に恥ずかしいことは何か、人間らしく生きるとう何かを考えてほしい。

### 生きてみようよ

（シルバーリボンのために）

作詞中西巨一 作曲繁榎義一

※シルバーリボン運動は、統合失調症への理解を求める取り組みとして、1993年に米国カリフォルニア州で産声を上げました。その取り組みは年月と共に発展し、現在ではうつ病や統合失調症、パニック障害といった脳や心に起因する疾患（障害）への理解を促進する運動として、世界規模で展開されています。

心が弱い私だけれど

生きてみたいと感じてきたよ

好きな時間を

みんなとともに過ごせるように

のんびりと

「生きてみようか？」

「生きてみようよ！」

君とっしょ シルバーリボン

「生きてみようか？」

「生きてみようよ！」

ゆっくりファイトシルバーリボン

苦しみぬいた

これまでだけれど

生きる糧（かて）とし

やさしくなろう

こんな気持ちを周りの人が  
分かってくれる時がくるから

「生きてみようか？」

「生きてみようよ！」

君とっしょ シルバーリボン

「生きてみようか？」

「生きてみようよ！」

ゆっくりファイトシルバーリボン

### いのちの理由

作詞作曲

さだまさし

私が生まれてきた訳は

父と母とに出会うため

私が生まれてきた訳は

きょうだいたちに出会うため

私が生まれてきた訳は

友達みんなに出会うため

私が生まれてきた訳は

愛しいあなたに出会うため

春来れば

花自ずから咲くように

秋くれば

葉は自ずから散るように

しあわせになるために

誰もが生まれてきたんだよ

悲しみの花の後からは

喜びの実が実るように

私が生まれてきた訳は

何処かの誰かを傷つけて

私が生まれてきた訳は

何処かの誰かに傷ついて

私が生まれてきた訳は

何処かの誰かに救われて

私が生まれてきた訳は

何処かの誰かを救うため

夜が来て

闇自ずから染みるよう

朝が来て

光自ずから照らすよう

しあわせになるために  
誰もが生まれてきたんだよ  
悲しみの海の向こうから  
喜びが満ちて来るように

私が生まれてきた訳は  
愛しいあなたに出会うため  
私が生まれてきた訳は  
愛しいあなたを護るため

### 君の橋

詞・曲 繁榎義一

君の海に涙

一杯になったときは

少し立ち止まって

休んでいこう

ゆっくり選べばいい

自分の歩く道を

自分の翼で飛ぶ

君の空がある

君の橋を 架けよう

※ この川を越えて

一つのこと

いいから夢中 で生きよう

自分のどこが好き

とても不器用で

やさしいところ

自分を消したいと

思ったことがある

そのたび必要だと

言い続けた人

※ くりかえし

君の空に雲が

一杯になったときは

少し立ち止まって

休んでいこう

自分のために生きて

愛する人のためと

心熱く燃やす

君が好きです

「人種、民族、性別や職業、日本でも世界でも古くから人々は他人との違いを見つけては、そのことで自分を高い地位に保とうとする行為をくりかえしてきました。これに対し、今から93年前の日本で人間は誰もが尊敬すべき存在であると謳った宣言がつけられました。水平社宣言

（1922年3月3日）です」

人間は尊敬すべきもの

同情したり、憐れんだりして、

冒とくしてはいけないよ

人間は自然の法則のまま

自由で尊厳のある存在ですよ

2006年 第58回

全国人権・同和教育研究大会 えひめ大会応援ソング

あなたのことばで

詞・曲しげますよしかず

あなたに 届く ように

話しておきたい こと

生きてゆく ことには

どんな意味があるの

命 輝く朝

平和の壁をつくる響合う

心を今 集めよう

人の世に熱あれ

人間に光りあれと

変わらない 魂の声

伝えなきゃいけない

あなたには力がある

この町を変えるため

あなたにはあなたでなけりゃ

できないことがある

あなたが出会う人に

幸せの風を送る

あなたが出会う人を

深く広くつなごう

変わりゆく時代に  
変わらない愛がある  
響合う 感動を  
今集めよう

人の世に熱あれ  
人間に光りあれと  
変わらない 魂の声  
伝えなきやいけない

「里の秋」  
斎藤信夫作詞・  
海沼実作曲

静かな静かな 里の秋  
お背戸に木の実の  
落ちる夜は  
ああ 母さんとただ二人  
栗の実 煮てます  
いろりばた

明るいまるい 星の空  
鳴き鳴き  
夜鴨（よがも）の  
渡る夜は  
ああ 父さんのあの笑顔  
栗の実 食べては  
思い出す

さよならさよなら  
椰子（やし）の島  
お舟にゆられて  
帰られる  
ああ 父さんよ  
御無事（ごぶじ）でと  
今夜も 母さんと  
祈ります

オリンピック憲章 Olympic Charter  
1996年版 (財)日本オリンピック  
委員会の根本原則の中に次のよう  
な文があります。

「あらゆる場でスポーツを人

間の調和のとれた発育に役立  
てることにある。またその目的  
は、人間の尊厳を保つこと  
に重きを置く平和な社会の確  
立を奨励することにある。」

・ 「オリンピック・ムーブメン  
トの目的は、いかなる差別をも伴  
うことなく、友情、 連帯、フェア  
プレーの精神をもって相互に理  
解しあうオリンピック精神に基づ  
いて行な われるスポーツを通し  
て青少年を教育することにより、  
平和でよりよい世界をつくるこ  
とに貢献することにある。」

・ 「スポーツの実践はひとつの  
人権である。何人もその求めると  
ころに従ってスポーツを行う可能  
性を持たなければならない。」

これを見ると、スポーツの文化  
と人権の文化と平和の文化は共通  
の理念を持ち、連帯性をもってい  
るといえます。

スポーツは勝者にばかり目がい  
ってしまいます。しかし本当に大  
切なものを見失ってはいけないと  
感じています。

それは王陽明の次のような言葉  
に表されています。「泰山（たいざ  
ん）も、平原の広さには及ばない。  
しかも平原には何も目につくもの  
がない」（『伝習録』下巻113条）  
中国の泰山と言え、日本の富士  
山に相当する有名な霊山です。こ  
の言葉を通じて、陽明は、「目立つ  
泰山を支えている平原の方にこそ、  
真の偉大さがある。有名人必ずし  
も偉人ではなく、無名の人にこそ  
立派な人がいる。名利を求めず、  
自らの学問充実に努めよ」という  
教えです。

社会の片隅で、ひっそりと目立  
たなくても、「美しい生き方を求め  
て自立した人になる」ことを目指  
すのが藤樹心学の教えであり、ス  
ポーツの真実の心なのかもしれませ  
ん。

## あなただけの花

詞/宇和島南中等教育学校人権委  
員会・しげますよしかず  
曲/しげますよしかず

輝く 瞳の 君であれ  
ここに生きる 私たち  
心 熱く 夢 見る  
今を生きる 笑顔の人

自由と平等の風  
歴史刻む 熱と光

地球の命の花  
平和の陽にきっと咲かせたい

道ははるか 遠くても  
時を超えて つながる旅  
心 広く 愛 深く  
ひたむきに 美しい人

自由と平等の風  
歴史刻む 熱と光

地球の命の花  
あなた色にきっと咲かせたい

一輪の花でも  
ひっそりと気高く  
枯れない花はない  
だからこそほら美しい

## ともしび

～田中愛子さんに捧げる～  
詞・曲 繁樹義一

花嫁になる君は26の夏に  
命の光星と輝き時間を止めた

たたずむ彼と  
ウェディングドレス  
鏡の中の笑顔消えない時間  
消せない時間遠い  
明日に届かない

十年先を二十年先  
人は軽く口にするけど  
今この時を  
大切にしていきたいの  
今輝きたい

お盆が過ぎたら 高くなる空  
ごめんね父さん 先に行って  
次に生まれても  
私のこときっと 娘にしてね

君の夢が今帰ってくる  
心こめて話そう  
命のきらめき炎のように  
人の罪をつぐなう  
愛は口にする事より  
分け合えば生まれる  
翼をもった心はばたく  
火の鳥の伝説

十年先を二十年先  
人は軽く口にするけど  
一日の幸せを  
知るときに  
その意味がわかる

## めぐり逢うために

詞・曲 繁樹義一  
補作詞 大洲ホーム

きっと誰かが 君のことを  
あの曲がり角 待っているよ  
きっと幸せ ひとつひとつ  
あなたと私 めぐり逢う

やさしい笑顔を 贈る風なら  
素顔の仲間たち 夢を編んで  
愛の木に結べば 願いかなう

きっと誰かが 君のことを  
あの曲がり角 待っているよ

きっと幸せ ひとつひとつ  
あなたと私 めぐり逢う

涙の海さえ 渡る舟がある  
素顔の仲間たち 輝く朝には  
愛の空に飛ぼう 翼広げ

きっと自分に 負けないからね  
あなたがいるから くじけない  
きっと心は ひとつひとつ  
寄り添うことで 強くなる

中江藤樹先生

「誠実であれ、進んで事にあたれ、  
身体を労して学びとれ」  
知行合一  
誠→言葉が成る  
偽りなき →人為  
孝→老いた親を子どもが背負う  
姿  
親が子へ 愛の心  
子が親へ 敬いの心

「五事」

「貌」やさしく和やかな顔で  
「言」相手に気持ちよく  
「視」あたたかなまなざしで  
「聴」話す人の気持ちに  
「思」心を開いて理解しよう



座禅草（ざぜんそう）